

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年 4月 3日

事業ID:2024014384

事業名:彩湖で『知ろう!』、『体験しよう!』、『楽しもう!』in戸田/海と日本2024

団体名:(公財)戸田市水と緑の公社

代表者名:理事長 田中 康介

TEL:048-449-1550

事業完了日:2025年3月31日

■契約時

事業費総額	:	4,410,000 円
自己負担額	:	890,000 円
助成金額	:	3,520,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	2,970,753 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	594,753 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	2,376,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	1,144,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 彩湖の水をきれいにしよう(彩湖・道満クリーンアップ)
(1)時期:2024年9月
(2)場所:彩湖周辺(彩湖・道満グリーンパーク)
(3)参加者:50名(地域の親子等)
(4)内容:
a. 公園内に自生する水生植物を活用した水質浄化フロート制作ワークショップ
b. 清掃活動

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 彩湖の水をきれいにしよう(彩湖クリーンアップ)
(1)時期:2024年9月21日
(2)場所:彩湖周辺(彩湖・道満グリーンパーク)
(3)参加者:15名(地域の親子等)
(4)内容:
a. 地域に自生する水生植物を活用した水質浄化フロート制作ワークショップ
b. 清掃活動

(3)成功したこととその要因

水質浄化フロート制作ワークショップの実施により、彩湖の治水・利水の役割と、海につながる彩湖をきれいに保つ必要性について意識醸成のきっかけづくりができた。目の前に彩湖を眺めながら、泥にまみれて一生懸命にフロートを親子で協力しながら制作するという体験が、参加者にとって深い学びにつながった。

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 利水と治水のしくみを知ろう(彩湖見学ツアー)
(1)時期: 2024年10月
(2)場所: 彩湖周辺、荒川左岸南部下水道事務所、彩湖自然学習センター等
(3)参加者: 20名(地域の親子等)
(4)内容: 荒川第一調節池(彩湖)・荒川左岸南部下水処理場・彩湖自然学習センターなどの見学と学習



(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 利水と治水のしくみを知ろう(彩湖のひみつまるっと探検バスツアー)
(1)時期: 2024年11月16日
(2)場所: 彩湖周辺、荒川左岸南部下水道事務所、彩湖自然学習センター等
(3)参加者: 17名(地域の親子等)
(4)内容: 荒川第一調節池(彩湖)・荒川左岸南部下水処理場・彩湖自然学習センターなどの見学と学習

(3)成功したこととその要因

地域の荒川水循環センター(下水処理場)と連携したことにより、普段はなかなか入れない場所や施設で深い学びを提供できた。

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. 彩湖で楽しもう(水上アクティビティ体験)
(1)時期: 2025年3月
(2)場所: 彩湖周辺
(3)参加者: 150名(地域の親子等)
(4)内容:
a. 水上自転車等の水上アクティビティ体験の提供
b. 地域の子どもたちや市民活動団体によるダンス演奏会などの実施



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. 彩湖で楽しもう(水上アクティビティ体験)
(1)時期: 2025年3月23日
(2)場所: 彩湖周辺
(3)参加者: 121名(地域の親子等)
来場者: 約300名
(4)内容:
a. 水上サイクリング体験の提供
b. 彩湖の魅力を感じる体験ブース(謎解き・ワークショップ・縁日等)

(3)成功したこととその要因

水上サイクリング以外にも謎解きなど彩湖を楽しみながら知る体験ブースを用意したことで、長い待機列を作ることなく、彩湖とつながる海への理解を高め、イベントとしての満足度を向上させることができた。

(4)失敗したこととその要因

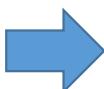
(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

彩湖・道満グリーンパークは、近隣都県からのアクセスが良く、各種スポーツ、ドッグラン、金魚・へら鮒つり場、バーベキューなどができる都市公園であり年間100万人以上が訪れます。公園内には(公財)埼玉県生態系保護協会との連携により「戸田ヶ原自然再生地」があり、そこで自生している水生植物を活用し、地元小学校とのタイアップによるフロートづくりを行い水質浄化の見える化により、水の大切さと水自然循環を学びます。また、公園内には各種スポーツ施設が整備され、利用団体との協力体系や行政(戸田市、国土交通省、埼玉県)などとの強固な連携が構築されているため、プロジェクトへの参加は市内小中学校の子どもたちに広く周知するとともに、彩湖の水質浄化と海洋プラスティック問題を我が事ととらえ、身近にある彩湖から地域、ひいては海洋へつながる魅力を再発見し、プロジェクトの継続性と子どもたちの自主的な参加、地域や海洋への愛着心を育みます。

- ・彩湖・道満クリーンアップ×水質浄化 50名
- ・彩湖見学ツアー 20名
- ・彩湖で遊ぼう(水上アクティビティ体験等) 150名

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	371	文字数チェック	OK
-------	-----	---------	----

・彩湖・道満クリーンアップ×水質浄化の達成状況：

参加人数は15名と目標を下回ったが、猛暑の中の屋外でのワークショップということもあり、安全面を考えると、スタッフがフォローでき、1名当たりの作業分量も適度であったため、人数は限られたものの、深い学びの体験を提供できた。

・彩湖見学ツアーの達成状況：

当日体調不良によるキャンセルがあったため参加者は17名となったが、彩湖関連施設を実際に巡り、学びを深められ、概ね目標を達成できた。

・彩湖で遊ぼう(水上アクティビティ体験等)の達成状況：

参加人数は121名(体験チケット購入数)、来場者数は約300名(主に親子連れであったため)と目標を達成した。

また、この3つのプロジェクトの他に彩湖周辺で「海ごみゼロ」を2回実施し、計230名に清掃活動に参加していただき、つながる海を広く周知した。

3.事業実施によって得られた成果

3つのプロジェクトにより、彩湖の水質浄化と海洋プラスティック問題を我が事ととらえ、身近にある彩湖から地域、ひいては海洋へつながる魅力を再発見し、子どもたちの自主的な参加、地域や海洋への愛着心を育むことができた。

プロジェクトに加え、同じ場所で海ごみゼロの清掃活動を実施し、相乗効果により、彩湖からつながる海洋を守る意識をより広く周知できた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

近年の異常な暑さでは、公園という屋外での体験事業は安全上の配慮を大いに要するものであった。彩湖を見ながら、猛暑でも対応できる拠点の必要性を強く感じた。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

- WEBページ(イベント参加者数、活動状況写真、集合写真、参加者コメント等)
ホームページ、Xで配信
※個人情報に配慮し掲載
- イベントチラシ(A4版80,000部)、ポスター(A3版1,000枚)
※公園管理事務所や市内公共施設に配架



(2)事業完了時の成果物名称

- WEBページ(イベント参加者数、活動状況写真、集合写真、参加者コメント等)
ホームページ、X、インスタグラムで配信
- イベントチラシ等印刷物 3,500枚

(3)未作成となった要因

SNSで広報活動を行ったため、ポスターは作成しなかった。また、チラシについても枚数を調整した。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

https://nippon.zaidan.info/nf_lib/nf_libServlet/nf_lib1050?np=1019&jigyo_id=0000101071

2024年度 収支計算書

2024年 4月 1日から 2025年 3月31日まで

事業ID:2024014384

(単位:%) 事業名: 池袋で『知ろう!』、『体験しよう』、『楽しもう!』in戸田(海と日本2024)

契約書(記3)に記載の補助率	80	団体名:(公財)戸田市水と緑の公社
----------------	----	-------------------

事業ID、事 報告書」タ 動反映され

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額（A）	決算額（B） 自動計算	助成金返還見込額
			自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	3,520,000	2,376,000	1,144,000
② 自己負担	890,000	594,753	
③ 収入合計	4,410,000	2,970,753	1,144,000

全般に

※赤枠、補
チェックの欄
ください

(支出の部)

(単位:円)

※契約書右
ある事業に
領収書のコヒ
載の上)貼付

※領収書番号
明・備考欄に

※費目は契約
とそろえてこ
通常使用して
使いください

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対して、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

次子昇額に対し、次昇額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還兌込額の先生有無】

返還見込額の発生	
	有り
※「有り」の場合は予算額に対し法算額が下回っているため、返還金が発生	

Page 10 of 10

【一致確認】※NGが出た際は、入力が間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計=決算額(y)④支出合計	OK

セルフチェック項目（プルダウンで選択）

- ①(収入の部)の予算額(A)①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
 - ②(収入の部)の予算額(A)③収入合計と
(支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
 - ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。